

## 学校教育学部オリキャン行事

## 学校教育学部

学校教育学部  
学生生活委員長

## 中間美砂子

バラエティに富む  
オリエンテーション行事

全学的オリキャンにかわるものとして、本年、本学部では教室ごとに実施した。

宿泊を伴ったオリキャン行事を実施

したのはわずか三教室であったが、いずれも、新入生から四年次生までほとんど全員が参加しており、教官も全員参加した教室もある。内容は、ビデオやスライドによる四年間の行事紹介、ゲーム、スポーツ大会、オリエンテー  
リング、班活動などと多彩で、充実し  
た催しとなっている。

宿泊を伴わない新歓行事を行ったのは、十教室で、従来からの新歓行事をより充実させた形で、学生、教官ほと  
んど全員の参加のもとに実施されている。内容は、行事紹介、ゲーム、スポー  
ツ大会、黄金山登山、広島市現代美術館での美術鑑賞、昼食会、茶話会など  
とこれも多彩で、限られた時間を有効  
に使っている様子が伺える。

本来、新歓行事・オリキャン行事とは、何をねらっているのであろうか。まず第一にあげられることは関係性形成であろう。新入生同士、新入生と上級生、新入生と教官とのコミュニケーションは、新たな関係性形成の機会となる。ついで、これから的生活の

目標の明確化があげられるであろう。  
大学は自ら学ぶところである。このこと  
とを、先輩や教官の具体的な話から実  
感をもつて自覚することができる。

教室ごとに実施した今回の試みは總じて好評で、ほぼ、上記のねらいは達成されたといえそうである。

しかし、特に宿泊を伴うオリキャン行事については、検討しなければならない問題も多い。まず第一に、予算措置の問題があげられる。今回は、予算措置の有無が不明で、学生はもちろん、教官もその費用はすべて本人持ちであつた。予算措置がない状況下では、全員参加を期待することはできない。

第二に、事故が生じた場合の責任、補償などの問題があげられる。今回は、傷害保険をかけた教室はなかつたが、今後は、このことについても検討していかなければならぬ。

第三に、会場の問題があげられる。

全学部で一斉に実施するにしても、全教室が教室別に実施するにしても、会場の確保にはかなりの困難が予想され  
る。宿泊を伴うオリキャンを実施するにあたっては、以上のような問題をすべてクリアしていくなければならない。

全学部で一斉に実施するか、教室ご

とに実施するか、宿泊を伴うか、伴わないか、その内容はなど、今後、さまざまな角度からの慎重な検討がなされなければならない。

以下、宿泊を伴わない新歓行事についての学生の感想の一例をあげる。

## 新入生歓迎会を終えて

中学校教員養成課程三年

(新歓行事フェロー)

山田祐江

家庭科研究室では、従来の新歓行事をより充実させた昼食会中心の行事を開催しました。

研究室のメンバー全員が集まり、先生方のお話し、全員の自己紹介に続き、手作りの料理を囲んでの研究室の年間行事紹介、ゲームと楽しい時を過ごしました。今年は、四年生が料理を、三年生が企画・進行を担当しました。

当日の料理は「五目ずし、ミートローフほか七品の豪華メニュー」でした。

行事の紹介では、どのような形式にするか悩んだ末、私達なりに趣向をこらし、ニュース形式にしました。

連想ゲー

ムほか四回のゲームでは、八班に分かれ、各班協力しながら、和やかな雰囲気の中で進みました。

この新歓行事のために、春休み中から準備を進めてきました。

この会は新入生のための会であることはもちろん、他の学生にとっても一年間の自分の成長ぶりを披露

する場でもあり、会の企画を通して成長する場もあります。これからもより充実したものとしていきたいと思います。

以下、新入生の声を列挙します。

○料理が先輩方の手作りだったことに驚きました。これから習えると思うと楽しみです。

○班別対抗ゲームでは、異様なほどの盛り上がりをみて、私も必死で頑張りました。

○学校教育学部には、研究室があり団結が強いと聞いていましたが、昼食会のおかげで研究室の人と友達になれ、先輩も声をかけて下さるようになりました。

○時間割を組むにあたっての疑問点も先輩の協力でほとんど解消しました。

○「家庭科」は生活科学が基礎となる教科だと思いました。しっかり勉強していきたいと思います。

○先輩方の話を聞くのがとても楽しく、時間がたつのを忘れるくらいでした。

